

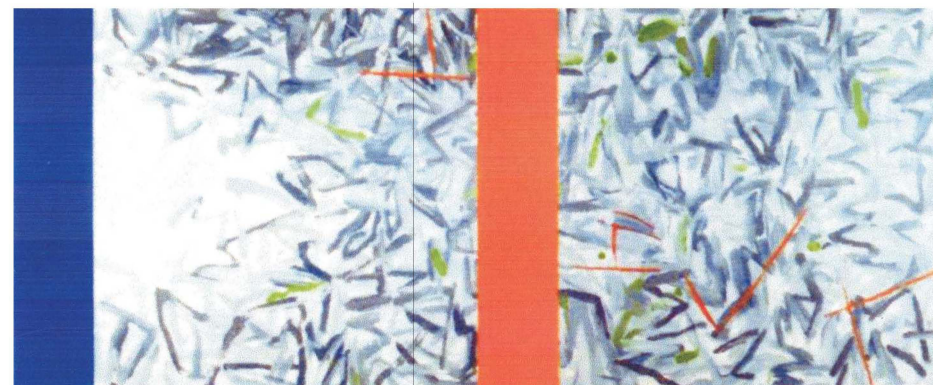
大森翠さんの作品が京都市美術館に収蔵されました

いつも「趣味の広場」に作品やニュースを投稿頂いている、本会会友 29 大森翠さんの絵が時代を追って六点が、2018年の春、京都市立美術館のパーマネント収蔵品になりました。

大森さんのお便りによると、どこの会にも所属せず、千里山のアトリエで半世紀、愚直に描き続けて来た成果と感じている、何かの企画展の折に収蔵庫から出され、過去の巨匠（編集部注：安井曾太郎や村上華岳など）の作品と並べられて展示されることもあるかと、身の引き締まる思いです。どうぞこれからも見守って頂けますよう、よろしく願い申し上げます。時節柄くれぐれもご健勝でお過ごし下さいませ。とのことでした。

今後一層のご活躍を期待しております。

昨年の会誌 20 号には 2017 年 5 月に三菱京都病院に油彩 14 点を納め、「ホスピタルアート」として患者さんの緩和ケアに喜ばれていることをご紹介しました。



H. 194.0×L. 468.0cm



1 都市計画道路「千里山佐井寺線」の開通と駅西道路整備

「千里山佐井寺線」の竣工式が3月15日に開催されました

2005年7月に始まった千里山周辺まちづくりで残っていた千里山佐井寺線「松が丘工区」約405mが完成。後藤市長、吹田市土木部など関係者、市議員、地元自治会関係者、阪急バス関係者が参加して、松が丘工区の中間点（工区の最高地点）を会場に竣工式が行われました。

式典では「松が丘工区」の事業概要の報告、地元の協力に対する謝辞と共に市に担当者を紹介すると共に、事業推進に当たった具体的な問題点への職員の苦勞を労いました。

「テープカット」の後、道路周辺の変化を確認し合いながら駅前広場まで歩き、そこで阪急バスの路線バス運行計画を聞き閉会しました。

尚、市・土木部地域整備推進室のホームページによると、現在残っている電柱4本を撤去し、電線も埋設し景観・防災面の向上を図ることになっています。（H31.12完了予定）吹田市HPに松が丘工区の写真を掲載しています。



テープカット



ちさと図書館前



佐井寺方面を望む

駅西道路整備

駅西道路の整備が進められ、信号機が新設されました。葉山珈琲店から東へ渡る歩行者用信号機は悩ましいです。また交番跡歩行者スペースは余裕があります。

（千里山まちづくり協議会 近藤均、筒井一光、中塚正昭、松岡要三）

松が丘工区事業概要

延長 405m 幅員 12m
事業期間：H22.6.7～H30.3.31
総事業費：約22億8千万円

【特徴】

- ① 環境およびバリアフリーに配慮した舗装
- ② 無電柱化を目的とした電線
- ③ 共同溝整備を生かす。道路整備によるバス路線の新規導入



駅西道路の整備

阪急バス時刻表

阪急千里山線		JR吹田北口線	
発着	去着日	発着	去着日
6	39		
7	53	30	
8	57	26	
9	57	23	23
10	57	23	23
11	57	23	23
12	57	23	23
13	57	23	23
14	57	23	23
15	57	23	23
16	57	20	23
17	45		
18	33	9	57
19	23	44	
20	11	33	
21	0		